

## 周産期保健医療体制の充実に関するPDM

プロジェクトの要約	指 標	入 手 手 段
<b>上位目標</b> ・すべての赤ちゃんが元気に生まれ育つ	乳児死亡率	県衛生統計年報
<b>プロジェクト目標</b> ・小さく生まれるリスクを減らし、リスクを持っていても安全に生まれ育つ児が増える	低体重児出生率	県衛生統計年報
<b>成果</b> 1. 周産期保健医療体制が充実する 2. ハイリスク妊娠が減る 3. 自己管理が十分できた妊娠出産できる	総合周産期母子医療センターの設置数(2カ所) 妊娠中の喫煙率 妊婦健診受診率	健康増進課 小児保健協会のアンケートより 沖縄県の母子保健
<b>活 動</b> 1 周産期医療体制の充実 1 - 1 医療機関の妊産婦へのサービスの向上を図る 安心して医療を受けられる情報が得られる様にする 1 - 2 24時間専門性をもった周産期医療体制の充実 総合周産期母子医療センターが2カ所指定される  2 地域で妊産婦を支える体制の充実 2 - 1 職場の妊婦への支援の強化 2 - 2 妊婦を支える家族の力をつける 2 - 3 経済的基盤の弱い人への支援の強化 2 - 4 市町村の妊産婦の保健指導の充実強化 2 - 5 ハイリスク妊婦・出産に対する支援の充実強化  3 妊娠中の禁煙プログラムの作成  4 望ましい妊娠に対する知識の普及啓発 4 - 1 正しい性情報の提供 4 - 2 望ましい妊娠に対する教育の充実  5 母性・父性の自覚がもてるようにする 5 - 1 赤ちゃんとの触れあう機会を十分につくる 育児ボランティア育成の強化 市町村の思春期体験学習の充実	<b>投 入</b>  行政(市町村、県、国) 周産期医療施設 助産所 医療機関 医師会 看護協会 ボランティアサークル 教育委員会 各職場 助産師・保健師・看護師 母子保健推進委員 臨床心理士 精神科医 その他	